

市長の施政方針の概要、代表質問 (1)

代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、令和2年度の市長の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が2日間に短縮して行われました。

2面～7面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

市長の施政方針の概要

2月28日の本会議において、市長が施政方針を表明しました。詳細は市報3月15日号、市ホームページでご覧いただけます。



丸山 浩一 市長

これからのまちづくり

令和3年1月、西東京市は誕生20周年を迎える。少子高齢化が進展する中で将来的な社会変化を視野に入れた施策の展開を図る必要がある。働き手・担い手不足の問題を解消し、地域社会の持続性をいかに維持するか、より庁内横断的な対応が必要になる。

人と社会のつながり、一人ひとりが生きがいを持ち、助け合いながら暮らしていくことができるよう、社会参加を通じた地域づくりを

行財政改革の取組

加速化させることに重きを置いた「健康都市プログラム」を定めた。このプログラムを念頭に、健康なまちづくりを進めてまいりたい。

ファシリテイマネジメントの専門部署を新設し、公共施設の適正配置を進める。合併以来の長年の課題であった庁舎統合に関して、保谷庁舎機能の再配置を行い、2庁舎体制の課題を一定程度、解消できた。引き続き庁舎統合の実現に取り組む。

令和2年度の主要な取組

もつと健康 もつと元気にフレイル予防事業は、4年目を迎える。市民サポートの存在が欠かせない。「サポーターになる」、

業に参加する」、それぞれが社会参加であり、地域社会とのつながりになる。西東京商工会、シルバークリニクス、社会福祉協議会等からなる協議会を組織し、「生涯現役応援窓口」を開設する予定である。

「8050問題」等の複合的な相談への対応、地域共生社会の実現に向け、「福祉丸ごと相談窓口」を設置するほか、生活サポート相談窓口等、相談体制の拡充強化を図る。

東京都の認知症検診推進事業を活用し、令和3年度からの認知症検診の実施に向けて取り組む。障害者の移動支援事業について、条件区分の見直し、事業対象者を広げる。

市民集会所等の一般型交流施設に公共施設予約管理システムを活用する。シブズン時計株式会社と「スポーツ推進の連携協力に関する協定」を締結した。災害に強い快適な都市インフラ整備を進めよう。

台風第19号で、避難行動全般に多くの課題が顕在化した。タイムライン（防災

行動計画）の策定を進める。市内公立小中学校の避難施設に災害時用のモバイル機器充電器を配備する。中学校体育館の空調設備の実施設計を行い、令和3年度中の整備完了を目指す。小学校通学路に面する倒壊の危険性があるブロック塀等の改修費用助成の対象に万年塀を加える。

無電柱化推進計画に基づき市道の優先検討路線において、埋設物試掘調査等を実施する。

防犯カメラを中学校区域ごとに、9カ所増設する。住宅確保と生活サポートを複合的に協議する居住支援協議会を設立する。田無駅南口の駅前広場については、引き続き用地買収等を行い、より快適で、にぎわいのあるまちとなるよう環境整備を進める。

ひばりヶ丘駅南口の市道104号線の歩車道幅員の再配分による道路改良に向けた実施設計を行う。西武新宿線の連続立体交差事業について、関連する附属街路等の都市計画手続を進めていく。

7月からプラスチック製買物袋が有料となる。マイバッグの利用促進や事業者への協力要請を行うなど、プラスチックごみの排出抑制や減量に向けた取り組みを進める。あなたと変える いっしょに変える

「商店街ブランドデザイン事業」を実施する。下野谷遺跡の史跡整備工事を2カ年かけて行う。北東部地域における地域協力ネットワークの設立に向けた準備を行っていく。地方創生交付金で田無駅に整備した「駅前情報発信拠点」が本格的に展開する。大型LEDビジョンや公開スタジオ、アンテナショップ、WiFi環境などを整備する。次世代への責任をしっかりと果たそう

子育て世代包括支援センターを保谷保健福祉総合センターに設置する。子どもたちの状況を迅速に把握し支援する必要があることから、子ども育成支援総合相談システムを子ども家庭支援センターに導入する。

サマー子ども教室・児童館ランチタイム事業について、本格実施する。待機児童対策として、認可保育園2園の整備を行う。本市独自の小中一貫教育を開始する。弁護士への委託による「スクールロイヤー制度」を試行的に導入する。中原小学校の建設工事を行う。小中学校における消防設備の改修も早期に進める。全ての中学校で特別支援教室を令和3年度までに開設するため、改修が必要な田無一中、二中、四中、柳沢中及び明保中において工事等を行う。英語教育の充実として、全小学校に教員用のデジタル教科書を整備する。中央図書館・田無公民館の耐震補強、学習室の拡充等の館内サービス向上を図るため、令和2年度に実施設計、令和3年度に改修工事を行う予定である。指定管理者の財務状況に対するモニタリング等、公認会計士を活用した取り組みを行う。

7月からプラスチック製買物袋が有料となる。マイバッグの利用促進や事業者への協力要請を行うなど、プラスチックごみの排出抑制や減量に向けた取り組みを進める。あなたと変える いっしょに変える

「商店街ブランドデザイン事業」を実施する。下野谷遺跡の史跡整備工事を2カ年かけて行う。北東部地域における地域協力ネットワークの設立に向けた準備を行っていく。地方創生交付金で田無駅に整備した「駅前情報発信拠点」が本格的に展開する。大型LEDビジョンや公開スタジオ、アンテナショップ、WiFi環境などを整備する。次世代への責任をしっかりと果たそう

子育て世代包括支援センターを保谷保健福祉総合センターに設置する。子どもたちの状況を迅速に把握し支援する必要があることから、子ども育成支援総合相談システムを子ども家庭支援センターに導入する。

自由民主党西東京市議団・無所属

新型コロナウイルス感染症対策に全力を尽くせ!!

市、議会、市民が一致協力し

この危機を乗り越えよう!!

- 浜中 のりかた
- 酒井 ごう一郎
- 遠藤 源太郎
- 小林 たつや
- 稲垣 裕二
- 田中 のりあき
- 保谷 なおみ
- 中山 清志
- 山田 忠良
- 富永 雄二

市長の政治姿勢  
【質問】 新型コロナウイルス感染症に対する市の取り組みは。

【市長】 東京都多摩小平保健所、西東京市医師会等と連携し、正確かつ迅速な情報収集に努めてきた。2月21日には西東京市新型コロナウイルス感染症危機管理対策本部を設置し、全庁的な情報共有及び方針決定を行ってきた。市が主催する行事を原則中止、市公共施設

の利用休止、3月2日から春季休業に入るまでの間、小中学校の休校、休校の間の児童生徒の居場所の確保対策等を決定した。

【質問】 新型コロナウイルスの経済への影響の認識は。

【市長】 イベント開催などの相次ぐ中止及び延期によって、特に飲食業や娯楽業などを中心とする業種に影響が出ていると認識している。国や東京都において資金調達に係る支援策が打ち出さ

れている。事業者へ迅速に情報提供を行うとともに、市内事業者の動向の把握に努める。

【意見】 今市民が求めていることは、新型コロナウイルスの感染拡大に勝つことであり、その影響を最小限に抑えて効果的な政策を実行していくことだ。我々は、国、東京都、西東京市の新型コロナウイルス対策に最大限協力し、市議会議員として市民の負担に代えるべく、言うべき

ことは言う建設的な議論を展開し、西東京市の未来のために全力を尽くしていく。この非常時を市と議会の両輪で乗り越えよう。

【質問】 令和3年1月に市長選挙を控えている。丸山浩一市長は、これまで2期7年間、多くの実績を残されているが、まだ課題もある。丸山市政の総仕上げとして3期目の出馬を期待するが、市長の見解は。

【市長】 新型コロナウイルス